

雑 報

第五 胆汁の治療的應用

松山市 牧野 武 喜

胆汁は近く結核治療に向つて使用せるも古來より民間藥として應用せられ其效時に少しこせず故に茲に聊か其の一端を記載して諸賢の參考に供せんます。

胆汁の性状

胆汁は肝臓内にて赤血球の崩壊する時「ヘマテイン」より生成せらるる肝細胞より分泌せられて消化時盛に十二指腸下行部へ排泄す其作用は消化機を補佐して腸内消化を完成せしむるにあり其の性苦味粘稠亞爾加里性にして其の比重は木村徳衛博士に従へば一〇・二乃至一〇・四〇なり主成分は胆汁酸及び膽色素なり胆汁酸は「グリココール」又は「タウリン」「ヒヨール」酸等の化合物にして牛、犬及び人等の胆汁は「ヒヨール」酸を含有すれども豚は Hyocholsäure 鳥は Chenochalsäure を所有す人膽には又 Fellinsäure & Choleinsäure を含有す牛も亦 Choleinsäure を有す而して牛膽は其の性最も人膽に近きものなり。

Chalsäure は水に溶けがたく酒精には稍や溶け易し Choleinsäure は「ヒヨール」酸に類似するも其の分量は彼に比して僅少なり Taurin は沸湯には溶け易きも無水酒精依的兒には溶解せず Fellinsäure は専ら「グリコヒヨール」酸「グリココネ」及び「ヒヨール」酸等より成る化合物にして肉食動物の胆汁には存在せず。

胆汁色素は動物の種類によりて一様ならず黄色、綠色、黄綠等あり Bilirubin & Biliverdin 各位の分量に應じて各異の色彩を現はすものなり而して Bilirubin は石灰と化合して屢々人及び牛の膽石を形成す Bilirubin の判定には Gmelinsche Reaction を以て最良とす Biliverdin は綠色無結晶物にして水依的兒「クロロフォルム」には溶解せず亞爾個保兒氷酸に溶解して綠色を呈す硫化安謨母尼亞に逢へば「ビリルビン」に還元す肉食動物にては「ビリルビン」の量多く草食動物にては「ビリフェルゲン」の量多く而して「ビリルビン」多き時は黄色「ビリフェルゲン」多き時は綠色を呈す。

胆汁の生理的效用としては直接消化の機能なきも隣液に作用して其酵素を可能性となし胃液より下降する所の酸性を中和し腸壁を濕潤せしめ脂肪を乳化して消化を容易ならしむ如何となれば其の性粘稠にして亞爾加里性なればなり又便通を促進して腸内の腐敗醗酵を防禦する作用あり。

胆汁の應用

余は先年腸室扶斯に罹り其の治癒後一時便秘に苦悶せし事ありき此の時胆汁の排便機能ある事を思ひ早速之を自己に應用せしに幸に便秘の苦痛を脱する事を得たり其の後屢々之を患者に應用して毎回好果を収め得たり然りと雖頑固なる常習性便秘者には一般の下劑が效を奏せざること同様に亦特筆すべき效を認めず。

胆汁は通利の效あるのみならず間接に消化をも援助する機能あるが故に腸胃の弱き人に對しては大に奨励すべきものなり余は人膽に近似の故を以て常に屠牛場に於て牛膽を買收し陰乾となして是を貯藏し用に臨みて其の約小指頭大を剪除して之を頓服せしむ或は時に水を加へて賦形藥を以て丸となして與ふ最も適當なる方法は多量の水に溶解したるものを直接嚥下せしむるにあり然る時は健全なる胃にては液は長く胃中に停滯する事なく直に腸管に移行するが故に通利の效一層顯著なるのみならず腸内消化を補佐する目的にも附合するものなり。

魚類殊に鰻魚の膽汁は民間にては夜盲症に向つて應用せられ効果あり其の内に「ウキダミン」A を含有するが故なり如何となれば二十日鼠に「ウキダミン」A 缺乏症を起さしめて眼疾起る時鰻魚の膽囊を内服せしむる時は眼疾輕快する故なり。

膽汁は消化補佐便通促進の他に胃腸の疼痛を緩解する作用あり如何となれば亞爾加里性なるが故に酸を中和すると粘稠なるが故に胃壁を保護して粘膜炎を軽減する效能あればなり。

膽汁の乾燥物質を得るには膽囊を陰乾となす時は漸次に硬固となりて水分を失ふに至る其の完全に固りたる時膽囊を縦形に切開して囊を剝離する時は其の内にある純膽汁の乾燥物質を得俗間にて販賣する所の熊の膽は牛膽なり。

膽汁の效用

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 一. 便通を促進す | 二. 酸を中和す | 三. 消化作用を補佐す |
| 四. 「ウキダミン」を含有す | 五. 胃腸の炎症を輕快せしむ | |

第六 乳汁の生命

吾人の身體内に在る所の總てのもの例へば細肥は無論、水鹽類等の如き無機物も雖吾人の體内に存在する間は悉く吾人が生命の一部にあらずものはなし如何となれば其の缺存は寸時も吾人の生命を保つ事能はざればなり(體内の代謝産物はこの限にあらず)故に乳汁の如きは蛋白質脂肪含水炭素鹽類「ウキダミン」及水等より成る流動性物質を有する組織と看做さるるに因り確に生命を有するものと判定せざるべからず恰も吾人の身體が蛋白質脂肪含水炭素鹽類及水等よりなりて微妙なる機能を有するも一般何等異なる所なし唯其の構造が乳汁にありては簡單なるだけに其の生命に關しても又單純なるものと想像する事を得べし而して生命を有するもせば之に對して一定の性状を具備せざるべからざる事も敢て怪むに足らず而して其の性状は母體の變化に應じて克く左右せられ得べき事は亦當然なり而して乳汁が乳房外へ分泌せらるる時は直に其の性状を變ずるのみならず忽ち死亡するに至る例へば牛乳の如きも乳房外へ出づれば漸次其の酸性を増加して終には凝固するに至る故に小兒の哺乳に際しては必ず直接乳嘴より哺乳せしむるを要す如何となれば死亡乳は漸次其の性状を變ずるが故に哺育上の價值を減少するが故なり彼の南洋土人の小兒が直接山羊の乳房より哺乳するが如きは誠に自然に適ふ處置なり(細菌の關係は別問題として)文明は時に自然を破壊して人工を加へ其の效力を殺滅する事少しとせず例へば「ラクトーゲン」「ドライミルク」或は「クラキソ」等の如きは大人に向つての營養品としては妨げなきも生命を有せざる死物なるが故に小兒の發育上には大なる價值を見出さざるのみならず營養分も生乳に劣る事數等なり。

母體の不攝生或は精神感動によりて小兒に異常を來す事あるは既に一般周知の事實なり此の時理化學的に何等の變化を認めざるにも拘らず小兒に不良の徴候を招來する事あるは彼が確に生命を有して其の性状に或る變化を感受せしに原因するものと解釋せざるべからず故に醫人は恒に此の點に注意を拂ひて理化學的の検査のみに信頼して乳汁の良否を判断すべからず而して其の原因の最も多きは母體の精神感動飲食物の關係及び粗暴なる交接等なり故に吾人は理代學的に何等の缺點を發見する事能はざる時にも必ず母體に就て既記の件に付十分なる調査を施行せざるべからず。

微毒脚氣等が乳汁によりて小兒を犯すが如きは論議を要せず藥品にても乳汁を經由して小兒に移行するものには大なる注意を要す其の他母體の心神に影響を及ぼすが如き藥品及び飲食物は不可なり例へば麻酔藥刺激性或は興奮性の嗜好品即ち多量の茶、咖啡及び胡椒の如き或は酒類等是なり故に哺乳兒を有する婦人は豫め斯の如き害を避けん事を勉め精神の慰安をはかり適當なる運動をなし滋養に富む飲食物を攝取して肉體の態を慎まざるべからず如何となれば小兒の健否は一家利害得失の因をなすものなり豈に警戒せざるべけんや。(完)

會 員 動 靜

敘從四位	正五位勳三等	島 園 順 次 耶 (五月一日)	岡山醫科大學助教授	北 山 加 一 耶	
	岡山醫科大學助教授	池 上 馨 一	本俸十一級俸下賜		
職務俸金六百圓下賜			職務俸金五百圓下賜	(六月二十九日)	
	岡山醫科大學教授	上 坂 熊 勝	東京帝國大學助手	緒 方 益 雄	
	岡山醫科大學教授	八 木 田 九 一 耶	任岡山醫科大學教授		
	岡山醫科大學教授	敷 波 重 次 耶	敘高等官六等		
(各通)	岡山醫科大學教授	奧 島 貫 一 耶	岡山醫科大學教授	緒 方 益 雄	
	岡山醫科大學教授	清 水 多 榮	本俸八級俸下賜		
	岡山醫科大學教授	鈴 木 稔	職務俸金千圓下賜	(六月三十日)	
	岡山醫科大學教授	田 部 浩	免兼職	扶桑軍醫長兼分隊長 海軍軍醫中佐 中 野 太 耶 (七月一日)	
職務俸金千圓下賜			從七位	吉 永 義 雄	
	岡山醫科大學教授	田 村 於 兎	(各通)	從七位	太 田 幸 衛
	岡山醫科大學教授	生 沼 曹 六	從七位勳六等	小 竹 豐	
職務俸金千貳百圓下賜		(六月十六日)	敘正七位	庄 司 義 治 (五月十五日)	
敘從六位	正七位	大 西 永 次 耶 (五月一日)		侍 醫 箕 繁	
	東京帝國大學助教授	木 下 益 雄	日光行幸行啓供奉被仰付		
陞敘高等官三等		(六月二十五日)	京都帝國大學教授	小 南 又 一 耶	
任岡山醫科大學助教授		北 山 加 一 耶	賜本俸七級俸	(七月十三日)	
敘高等官七等					

- 野村 清君 は多年大阪同生病院外科に勤務し居られしが今般濟生會大阪府病院内科に轉勤せられたり
- 日域 旭丸君 は今般大阪同生病院外科に勤務せられたり
- 釋舍 龍猛君 は今般廣島市立船入傳染病院に轉勤せられたり
- 請川 秋義君 は今般日本赤十字社和歌山支部病院外科に勤務せられたり
- 沖津 互君 茲に全州慈惠醫院を辭職せられたる同君は今般京城醫學專門學校藥物學教室に入り研究に従事せられたり
- 菅 忠芳君 は今般日本赤十字社和歌山支部病院内科醫長を辭し歸岡せられ不日當市野田屋町舊宅に於て開業せらるる筈なり
- 阪東 行雄君 は先般岡山醫科大學第一内科を辭し和歌山市紀伊町に於て開業せられたり
- 安藤 守元君 は昨年夏以來二監に犯され靜養に力められし結果餘程快方に赴かれしも尙ほ恢復に努めらるる筈にて先般岡山醫科大學の教職を辭し岐阜市外加納町西加納三丁目に歸郷せられたり
- 小金井拙夫君 は今般兵庫縣飾磨郡家島村に移轉せられたり

渡邊順次君逝く 君は明治四十四年岡山醫學専門學校を卒業し岡山縣病院に勤務し後本縣吉備郡吳妹村に於て開業し居られしか去月十二日病を以て遠逝せられたりと痛惜に堪へず謹みて弔意を表す

佐野又新君逝く 君は明治三十七年岡山醫學専門學校を卒業し松江市雜賀町に於て開業し居られしか本月十日永眠せられたりと洵に哀悼の至りに堪へず謹みて弔意を表す

●**學位授與** 伊藤幸憲君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしか本月十八日醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及參考論文は左の如し

主論文

骨膜竝に骨髓の移植による骨再生に就ての實驗的研究 (英文)

參考論文

軟部に移植せられたる骨の運命に關する實驗的研究

附, 骨治癒機轉に就て (英文)

グッペル氏星芒細胞の機能に關する實驗的研究, 墨汁注入の星芒細胞に及ぼす影響竝に該細胞と肝臟「グロコゲン」との關係に就て (英文)

關節軟骨の榮養竝に治癒機轉に關する實驗的研究 (英文)

白鼠の消化管竝に四肢長管狀骨の生後發育に關する形態學的研究 (英文) (藤原政雄, 伊藤幸憲共著)

糖磷酸「エステル」の骨酵素に因る分解竝に骨折に對する該「エステル」の影響に就て (英文) (藤原政雄 伊藤幸憲共著)

●**學位論文通過** 志摩次郎君は豫て論文を提出し學位を請求し居られしか本月三日京都帝國大學醫學部教授會に於て學位を授與すべきものと決定せり其主論文は左の如し

1. 「ペンツオール」に關する實驗的研究, 特に其年齡的差異に就て

其一. 血液の形態學的研究

其二. 骨髓の組織學的研究

○新刊紹介 外科看護學 全一冊

本書は岡山醫科大學教授醫學博士西川義英氏校岡同大學講師佐藤攻夫氏の著述せるものにして、繃帶學及び外科看護學に關して高遠なる理論よりも實地應用に重きを置き、三百五十餘の鮮明なる寫真版挿圖によりて懇切に記述せり。常に實地醫家及び醫學生諸士の適切なる參考書たるのみならず、看護婦諸姉の良師友たらん。内容目次は次の如し。

第一編繃帶學 第一章繃帶總論…繃帶材料・繃帶の種類・繃帶交換 第二章繃帶各論…卷軸帶・繃帕・複製繃帶・絆創膏繃帶・被覆繃帶・固定繃帶・牽引繃帶・壓迫繃帶

第二編外科看護學 第一章診察準備…診察用器械・患者の準備 第二章手術準備…手術室・手術に關し準備すべき藥劑・手術用器械及び其消毒法・手術に要する諸材料及び其消毒法・手術時用器具及び其消毒法・術者手指の消毒・患者の準備及び消毒 第三章麻醉法…全身麻醉・腰髓麻醉・局所麻醉 第四章手術中の介輔…直接手術に參與するもの・其他の介輔 第五章手術及び麻醉準備一覽 第六章患者に於ける手術準備 第七章手術後の整理 第八章術後の療法…一般療法・局所の療法

四六版本綴約三百頁, 定價金三圓, 發行所東京市本郷區新花町鳳鳴堂書店。